

平成21年度 野外活動センターの管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会 社会教育課

評価対象：平成21年4月1日～平成22年3月31日

評価委員会開催日：平成22年11月11日

1 指定管理者

指定管理者	特定非営利活動法人 レクリエーションアクティブなわて
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日（5年間）
施設概要	市民が余暇時間の活用として日常生活から離れ、豊かな自然環境の中で、森林浴や日光浴などを通じて、心身のリフレッシュを図るとともに、新たな仲間づくりやコミュニティづくりを進めることを目的とする。
指定管理料	11,818千円（5年間 59,730千円）

2 管理運営の内容

項目	21年度の状況
運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ○平等利用のための手法 <ul style="list-style-type: none"> ・身体障がい者スタッフを雇用し、利用しやすい環境を整備、促進を図った。 ・備品貸出業務 有料備品について利用方法等の説明書を作成し、貸出しを実施した。 ・FAXによる申込み受付を引き続き実施した。 ○自主事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・主な新規事業として、山小屋事業、山遊亭事業、なわてホテル探検事業など5つの事業を展開した。 ・野外活動相談業務を行えるよう有資格スタッフを配置した。 ・利用者自身が施設の管理運営に主体的に関わる仕組みとして期待されていた「利用者協議会」については、設立までは至っていない。 ○施設の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度作成したリーフレットを引き続き使用 ・情報誌7810（なわて）キャンプ場を約2ヶ月に1回発行 ○安全確保対策 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府キャンプ協会が開催しているリスクマネジメント講習を受講した。 ・緊急時の連絡体制表を掲示、行動表をデスクに設置
維持管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ○保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理、軽微な修繕については、職員が実施した。 ○清掃業務 <ul style="list-style-type: none"> ・軽微な植栽の維持保全等は、職員の通常業務に含み、日常的に実施した。 ○環境への配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・施設内に雨水タンクを利用し、水道の節水を行っている。 ・廃棄物については分別排出を職員が行い、利用者にも呼びかけを実施
利用状況	<p>前年度と比較し、利用者数は796人増（16.6%増）の増加となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰りは、3,794人（19.4%増） ・宿泊は、322人（9.0%減） ・イベントは、526人（24.2%増） ・自主事業は、730人（13.7%増） 昨年に比べ天候がよかったため。 ・天体観測は、221人（9.4%増） 宿泊に関しては期間限定であり新型インフルエンザの影響があると思われる。
収支状況	<p>収支報告書では483,690円の黒字決算になっているが、修繕料の未執行額334,495円を市に返納したため、最終決算額は149,195円の黒字決算となった。</p>

3 利用者へのアンケート調査

21年度の状況	
調査の実施内容	対象：施設利用団体 調査期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日 調査方法：施設内でのアンケート用紙配布と回収 回答件数：90件
調査の結果	施設利用の感想：「満足」、「やや満足」が82% スタッフの対応：「満足」、「やや満足」が85%
主な苦情・意見等	高齢者は、無料にしてほしい。 自然がたくさんできれいな場所で安く利用でき楽しく過ごせました。 集会室、少し寒かった。 スリッパサイズが小さいので大きいスリッパがほしい。 天体観測は、よかった。 ずっとこのままであってほしい。 何も不満な点は、なかったです。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型インフルエンザの流行の中利用者が昨年度から16.6%の増加は大変評価できる。ただ宿泊だけは、昨年度から9%減少しておりインフルエンザの影響とお風呂等の設備が整っていないことが考えられる。 ・ 利用者が管理運営に関わっていくよう期待された利用者協議会は、最後まで設立できなかったのは、残念である。 ・ 直営で運営していた時よりNPO法人に代わりアンケートの結果の満足度でもわかるようサービスが向上している事は、評価できる。 ・ サービスの一環として施設の愛称の策定や新たな調理器具の販売或いは生肉等の販売を模索したが条例上どれも実施には、いたっておらず、指定管理者のモチベーションを下げないためにもこれからの課題である。 ・ ホームページについても平成21年8月に正式に市ホームページにリンクされ利用者への情報提供に供した。 ・ 以上の結果総合評価は4になっておりますが項目によっては、3もあり総合的に見た結果4ということで判断しました。

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果